

東由利村報

No. 105 1966・3・20

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

第3議会定例会

□□□□□□□□□□

新年度予算総額

1億6268万円決る



41年度予算を審議する3月定例議会は、3月12日に招集され、会期を23日まで12日間と決定した。議案審議の経過は次のとおりである。

第1日(3月12日)

村長より41年度予算編成に対する施政方針が述べられ、教育委員長より教育計画の説明がなされた。引続き一般質

問(別項)がなされた。

第2日(14日)

議案第1号専決処分より6号までの説明、休憩後第7号より11号までの41年度一般会計予算の外予算関係を一括上程して説明した。

第3日(19日)

これまで説明した議案に対する質疑

第4日(22日)

19日に引つづき質疑をつづけ、議案15号までを一括して討論採決を午前中におわり、午後は40年度一般会計補正予算外4件を審議し、いずれも原案どおり可決した。

【写真、村長の施政方針演説】

一般質問

定例村議会一般質問要旨
定例議会第1日、村長の施政方針演説に続き次の7議員よりの質問あり、村長、教育委員長、担当職員より詳細な答弁がなされた。要旨次のとおり、

官行造林の分収金について
小松与惣雄議員、①官行造林の繰上伐採による分収金1500

万円を本年度の歳入に見込んでいるが、年々こうして使っていたのでは、中学校建設等に困ることにならないか。②高校生の下宿問題を解決するために、本荘に村営の寮をたてる考えはないか。

村長、①この財源を中学統合に振り向ける積りで、村への収入を1億5千万円位と見込んであったが、営林署の計画では大きく下まわって、その

交付額は43年まで大体本年と同額のようなのである。

道路や橋などの工事を休んで学校統合に振り向ければ容易に出来るが、これ等の工事の機会をのがすことも出来ない。しかし43年までには大体片付くから、44年以後に学校に取りかかる積りである。

②舗装の完成するのは43年であり、その後はバス通学が出来るので寮をたてる考えはな

い。

教育委員長、中学校統合はのびただけで必ずやる。高校生のための寮をたてる考えは教育委員会にはない。

納税未完納部落の指導

役場よりの通達は能率的に佐藤謙吉議員、①3月5日までの納税未完納部落は29残っているが3月中完納出来るように指導するよう。完納部落に対する奨励金を交付したか②役場よりの通達の不急なものとはまとめるようにしてなるべく部落にかかる手数をはぶくようにしてもらいたい。村長、①納税は納期内完納を立前として積極的に指導している。②通達についてはご意見にそうようにする。

税務課長、奨励金は早い方から近く交付する。

村道牧道などの整備

長沢毅議員、①放牧場草地などに通ずる道路について、年々採草の量が多くなり、トレーラー、小型車などで運ぶようになったが、これに伴い道路の改修が全面的に必要なようになって来た。村として助成する考えはないか。②構造改善による路線変更などにより交通の不可能なところがある。特に上里地区が甚だしい。速急に整備されたい。③サイレンを鳴らす時刻がまちまちである。

村長、①牧道については原則として受益者の自発的修理を希望するが、多少の助成は考える。②目下工事中であるので、今しばらくがまんしてもらいたい。③時間励行の根本であるから十分注意する。

放牧場仔牛育成所について 酪農振興に役立つよう

加藤清議員、①放牧場のこれまでの経過、現状、将来の見通しについて、②仔牛育成所の運営について、

村長、①放牧頭数は出稼などによって減った。しかし村の将来を考えると、畜産は益々振興しなければならないのでこれを統合して合理的に運営

する。②見通しを誤って面目ないことに思っている。あれだけの設備であるので山菜加工場など活用することを色々研究しているが、国からの助成を受けているので、監査などの関係もあって急に転用は出来ないが、何とか有効に生かすようにする。

教育行政について

村外教職員の優遇など

長谷山喜市郎議員、①村外教員受入のための住宅建設計画②中小学校の統合問題は後退したような印象を受けるがどうか。③体位の向上は極めて重要だと思うが、一方運動会に対する予算措置のないのはどううわけか。④医科大学を秋田に誘致することについての考え方を承りたい。⑤東京の秋田学生寮を拡張して収容能力を増すよう働きかける考えはないか。⑥本荘高校定時制下郷分校を独立校にする考えはないか。⑦消防団員の優遇について。

教育長、①教員の受入れについて、教員住宅の少いには全く困っている。逐次建設したいが、とりあえず本年は宿小に、明年は蔵小に建てる計画である。住宅以外の宿についてはPTAの協力を求めている。②学校統合については推進委員会を開いて検討することになっている。③運動会については、体育は常時正科として指導しているので、特に運動会としての予算は見ない。⑤秋田寮の拡張は敷地がなくて行き詰っている。⑦定時制分校の独立は別に検討を要する。

村長、④厚生連としては考えていない。知事は希望しているが容易でない。⑦若干ながら優遇の予算措置はした。消防団員以外の組織整備にも努力して消防力の充実につとめる。⑥経費の問題で容易でない。

教育委員長、高校生のための寮については、石脇の財産区から敷地を借りる見込みはあ

るようだ。先生と生徒と警察からなる非行防止の会を活用されたい。優秀教員招致のため、あらゆる便宜をはかるよう対民の協力をお願いする。指導主事を中心とする研究会を今年も計画しているから、ぜひ出席して研究に参加していただきたい。

特殊学級の増設など

長谷山千代蔵議員、①旧下郷地区にも特殊学級を設けられたい。②山村振興対策指定村になれないか。③中学校の統合について。

村長、①特殊学級は増設したい。②鳥海と皆瀬は指定を受けているが、本村は林業構造改善など別の方法で行く。③中学校統合はおくれただけで必らずやる。

給食と小学校の統合

佐藤要次議員、①給食をやっているところとやらないところとの体位の比較資料と、全村に給食した場合の経費の見積を提出するように。②小学校の統合計画と統合後の運営について承りたい。

教育委員長、①調査の上提出する。②小学校の統合は研究中である。

議案審議の中から

部落交付金は早く交付して運営に役立つように

伊東与吉議員、部落交付金、納税組合助成金などはなるべく早期に交付し、完納報償金は規定通り完納したものについてはその都度速やかに交付して部落の運営費に役立つように取計らわれたい。

なお納税の規定は村民にくわしく知らせて、その報償を直ちに実行することと相まって納税意欲を高めるようにすることを希望する。

村長、お心づけを感謝する。そのように実行する。

農業構造の改善について

佐藤要次議員、農業構造改善事業に対し、完了までの村費からの支出総額はいくらになるか。

中津川、10,418千円である。佐藤要次議員、そのような支出の事業を村でまかない切れるか。

村長、かならずやってみようと考えている。

なお、農業構造改善事業や義務教育(学校建築なども)などは、全額国の責任に於て行わなければならぬ性質のものであり、国の大勢もその方向に動きつつあるものと考えている。

小松豊議員、玉米中学校の給食計画はどうなっているか。教育長、従来県の指導方針は給食センターを設ける方向であったが、近頃は各校別に施設することになったので、教育委員会としても再検討を要することになっている。

村長、現在の交通事情から、9校及び分校を含めて、1給食センターでまかなうことは不可能である。さりとて各校別に実施することは財政上から実施出来ない。

寄宿中学生に援助を

伊東与吉議員、下郷中学校には寄宿舎がないので、冬季間遠方からの中学生は、高村の12名を始め、32名が宿を借りており、その負担も容易ならぬものがある。これに対し援助の道を構えられたい。

村長、このことについて、先づ知事に陳情書を出し、相談して見たところ、個々に民泊している者に対しては、国県共に補助の道がない。民家でもよいから集团的に寄宿舎制を実施するならば…ということであったので、横渡の阿部明さんのうちを借りて今年の冬から寄宿舎制を実施することにする。

小松豊議員、そうやって補助を受けることになったら、玉米中の寄宿舎生にもぜひおねがいします。

伊東与吉議員、黒淵診療所はこのままの赤字でも、村費の助成をつづけて行く考えか。

村長、僻地振興は「先づ健康から」と思うから、当分つづけて行くが、運営について特に医者派遣について改善したいと考えている。

教職員異動

【転入】▷住吉小(上浜小)(長)山田礼智(西目中)繩野了二(前郷小)吉川勇▷玉米小(新山小)(長)田代研二▷袖山小(金浦小)石垣久五郎(新任用)塚本洋子▷老方小(仁賀保中)(長)奥村徳男(小出小)佐々木鉄男▷蔵小(亀田小)岩永泰秀(西滝沢小)今藤和夫▷法内小(新任用)佐藤功▷玉米中(道川中)(長)進藤新(北中)小川喜代治(羽広中)小松勘一郎(出羽中)阿部富▷下郷中(石沢中)鎌田武(西目中)伊藤啓次(西目中)進藤フキ

【転出】直根中(住吉小)(長)木元幸吉▷宿小(〃)藤原虎之助▷小友中(〃)石崎紀子▷西滝沢小(玉米小)(長)多田平吉▷滝小(〃)佐藤セツ▷北内越小(袖山小)梅津和夫▷前郷小(老方小)遠藤重和▷平沢小(〃)佐々木広雄▷前郷中(蔵小)熊谷茂▷秋田八田小(〃)佐渡谷敬一▷鶴舞小(法内小)三浦敏男▷石沢中(〃)巖倉正昭▷法内小(宿小)阿部清治▷川内中(玉米中)岡本正▷上浜中(〃)佐藤一誠▷下郷中(〃)小松妙子▷玉米中(下郷中)佐藤清典▷仁賀保中(〃)伊藤俊雄▷玉米中(〃)中津川ユキヨ▷出羽中(〃)首藤喜久子

【退職】(老方小)(長)中村松之助(玉米中)(長)佐藤松之助

納税報償金について

(村民税・国保税の両方)

①納期内完納

毎月納期内に完納した組合
1世帯当り650円

②指定期日完納

10月末日まで、それまでの分を一たん完納し、あとの分は2月末日までに完納
1世帯当り450円

③年度末、3月31日まで完納

1世帯当り350円
組合完納が出来なくとも、個人で完納した者には200円。

○

税金はためればなんぎになる村では4月から1月まで、5月をのぞく9回に分けて納めてもらっている。納期ごとに納めていけば、らくに納めて報償金がもらえる。こんなうまいことならみんながご利用なさるよう。

歳入歳出予算

歳入 歳出

款	項	金額	款	項	金額
1	村税	千円 24,974	1	議会費	5,803
	1 村民資産税	5,328		1 議会費	5,803
	2 固定資産税	13,231	2	総務費	26,946
	3 軽自動車税	844		1 総務管理費	18,784
	4 村たば消ス取	2,711		2 徴税民登録費	5,458
	5 電気ガ	1,152		3 戸籍住民登録費	1,466
	6 木材引	1,708		4 選挙調査員費	240
2	臨時地方特別交付金	10		5 統計委員費	907
	1 臨時地方特別交付金	10	3	民生費	6,175
3	地方交付税	64,000		1 社会福祉費	3,093
	1 地方交付税	64,000		2 児童福祉費	1,979
4	分担金及び負担金	68		3 国民年金費	1,103
	1 負担金	68	4	衛生費	5,578
5	使用料及び手数料	586		1 保険衛生費	3,839
	1 使用料	60		2 清掃費	1,239
	2 手数料	526		3 簡易水道費	500
6	国庫支出金	3,798	5	労働費	178
	1 国庫負担金	577		1 労働諸費	178
	2 国庫補助金	2,537	6	農林水産業費	51,860
	3 委託金	684		1 農業費	33,603
7	県支出金	32,885		2 林業費	18,217
	1 県補助金	32,425		3 水産業費	40
	2 委託金	460	7	商工費	125
8	財産収入	16,620		1 商工振興費	125
	1 財産運用収入	16,279	8	土木費	30,203
	2 財産売却収入	341		1 道路橋梁費	29,976
9	寄附金	1,127		2 河川宅	209
	1 寄附金	1,127		3 住	18
10	繰入金	7,235	9	消防費	4,383
	1 財産区繰入金	535		1 消防費	4,383
	2 基金繰入金	6,700	10	教育費	22,329
11	繰越金	300		1 教育総務費	4,715
	1 繰越金	300		2 小学校教育費	9,023
12	諸収入	2,077		3 中学校教育費	6,208
	1 延滞金加算金	152		4 社会教育費	2,233
	2 及び過剰子	300		5 保健体育費	150
	3 村預金元利収入	1,057	11	災害復旧費	880
	4 雑収入	568		1 公共土木災害復旧費	880
13	村債	9,000	12	公債費	5,630
	1 村債	9,000		1 公債費	5,630
歳入合計		162,680	13	諸支出金	1,890
				1 普通財産取得費	1,890
			14	予備費	700
				予備費	700
			歳出合計		162,680

入（官行造林分収金など）1612万円などであり、歳出では人件費物件費などが大幅に増しておりますが建設的投資に重点を置いて、道路と橋に2997万円、農業費3360万円林業には123.3ha479万円教育費2233万円などが重なるものであります。

国民年金だより

夫婦で月1万円

国民年金額が月5千円、夫婦で月1万円の国民年金が受けられることになりました。

本年は、年金額の引上げをはじめ国民年金制度のしくみを大幅に改正する年になっておりますが、1月13日に国の予算がきまり、これによってこの法の内容が裏づけされました。改正される重なることは次のとおりです。

○老令年金、25年間かけ金を納めた場合の年金額が、2.5倍に引き上げられ、現在の月2000円から月5000円に引き上げられ、夫婦あわせて月1万円の年金となります。

○障害・母子および母子福祉年金、これら年金の最低保障額と、現在の月2000円（母子準母子は、最低1600円）から5000円に引き上げられます。

また、障害年金の場合、1級障害の加算額が、現在の500円から1000円に引き上げられます。

○かけ金の額、年金額が月5000円に引き上げられることにとともに、かけ金も現在の35歳未満100円、35歳以上150円がそれぞれ100円引き上げられ、月200円と250円になります。

○福祉年金、老令・障害・母子および準母子福祉年金の年金額が、月200円ずつ引き上げられます。

○この改正法は、42年1月から実施される見込みです。

納め忘れた掛金は4月中に3月までの国民年金の保険料をまだ納めてない方がありましたら、必ず4月中に納めるようにして下さい。

村長施政方針要旨

建設投資に重点

私の村づくりの理想は、住みよい村・明るい家をつくることである。

そのため、物的には経済力を豊かにし、心的には人の和をはかる。この物心両面の調和を推し進めなければならぬ人づくりもこのことが根本であり、特に精神的開発を重視

すべきだと信じている。

さて国の予算の本年の特色は、不況の対策と物価の値上りをおさえることを重なる目的として公債の発行による大型積極予算に踏み切ったことあります。

我が村の予算も歳入出共に1億6368万円、前年にくらべて3568万円18.7%増。

という大型予算になりました物価の値上りと人件費の大

幅な増加にくらべて歳入がともなわないので、予算編成にはいろいろな苦勞がありました。が、経常歳入と経常支出とはなるべくつり合いのとれるようにして、来々るだけ建設投資にふりむけるように努力いたしました。

歳入の重なるものは村税の、2497万円、地方交付税の6400万円、国庫支出金の379万円県支出金の3288万円、財産収



高村分校に図書寄贈

新刊書 46冊

昨年12月、公民館長小松栄男さんが、高村分校に児童向き新刊書20冊をおくったところ、こども達ばかりでなく親も一しょに読んでおり、部落をあげてのよろこびと感謝を続々よせて来た。殊に僻地分校に黙々として奮闘している先生方は、その困難な立場

に理解と同情を寄せられたことに深く感銘している。

この人々の純情にむくゆるため、かねて館長から西目中学校教頭佐藤敏英先生に選定を頼んでいた本26冊が、高堂書店から届いたので3月18日法内小学校の修卒業式の日

に理解と同情を寄せられたことに深く感銘している。職者の大部分はとくに大都市またはその周辺への就職を希望しています。

卒業期の青少年の心理

これら就職希望の青少年たちは、就職によりこれまでとは全く変わった環境の中にはいって行くわけで、いわば人生の大きな転機に立たされているといえましょう。

卒業期にある青少年一般についていえることは、心理的に極めて動揺しやすく、卒業前後の生活の変化が青少年の

精神や行動の面に少なからぬ影響を与えるということであり

ます。最初の1月が一番大事就職して始めて月給を受取った時、おそらく一生忘れ得ぬよろこびでありましょう。同時にその使い方いかんがその人の生涯を左右するともいえましょう。学校から解放されたという解放感や、自分の力だけではげしい競争に耐えていかなければならないという緊張と不安、全く自由な時間が与えられたためにかく生活が気ままに不規則になりやすくなっているところへ始めて自分の力による収入がはいるので、生活の関心が都会の享樂的な面に向けられていたづらによくない刺げきを求めたり、不良なさそいに乗せられたりして、急に金使いが荒くなったり、不良な友だちとつき合ったり、夜遊びや酒たばこをおぼえたりして、いつの間にか悪い習慣を身につけたりするのがこの時であり、都会にはこのような条件が実によくそろっている。

次々に職場をかえる

就職の最初に身についた気ままな生活態度や悪い習慣のために、せつかく就職しても落付けず、次々と職場をかえてしまい、いつしか非行の道に迷いこみ、そこからぬけ出せなくなっている者もよく見かける。

大切な肉親のはげまし

職場での不満やささいな出来ごとともかく自信を失いがちなこの時期の青少年たちにとって、何にもましてあすへの意欲を燃やしてくれるのは故郷にいる肉親の暖かいはげましである。遠くはなれている保護者は、青少年たちが手もとにいたころよりもなお一層心がけ、日頃からたえず青少年たちや雇主と連絡をとっていることが大切である。

—秋田地方家庭裁判所—

教育委員長 教育計画説明

村の財政計画によって、学校統合も当分延期しなければならなくなった。学校の増改築や施設についても計画はあるが本年は僅かに、宿小中学校住宅の移転改修だけにおわったが、これは学校統合と共に近く解決しなければならぬと考えているので、何率最低の予算で最高の効果をあげるようご協力をお願いします。

学校教育に於ては、学力の向上、特に僻地教育の振興の上から、本校分校の一体化をはかって格差を是正すること社会教育に於ては、生活に即した課題を取上げることにより、くらしを豊かにし、健康づくりの日常化をはかりたい

修正申告と 更正請求はお早目に

3月15日までに申告所得税の確定申告を提出したあとでその申告内容に誤りがあることに気付いた場合で

- 1、さきの申告が少なかった場合は（例えば申告もれや、よけいに還付を受けたとき）よけいな加算税などを納めないですむように早速「修正申告」をすることです。税務署ではただちに申告どおり補正します。この「修正申告」は税務署から更正の通知が来るまではいつでも出すことができます。
- 2、さきの申告が多かった場合は（例えば所得金額を過大に計算し、よけい税金を納めたり、還付を過少に受けたとき）これも早速「更正請求」の手続をすることです。

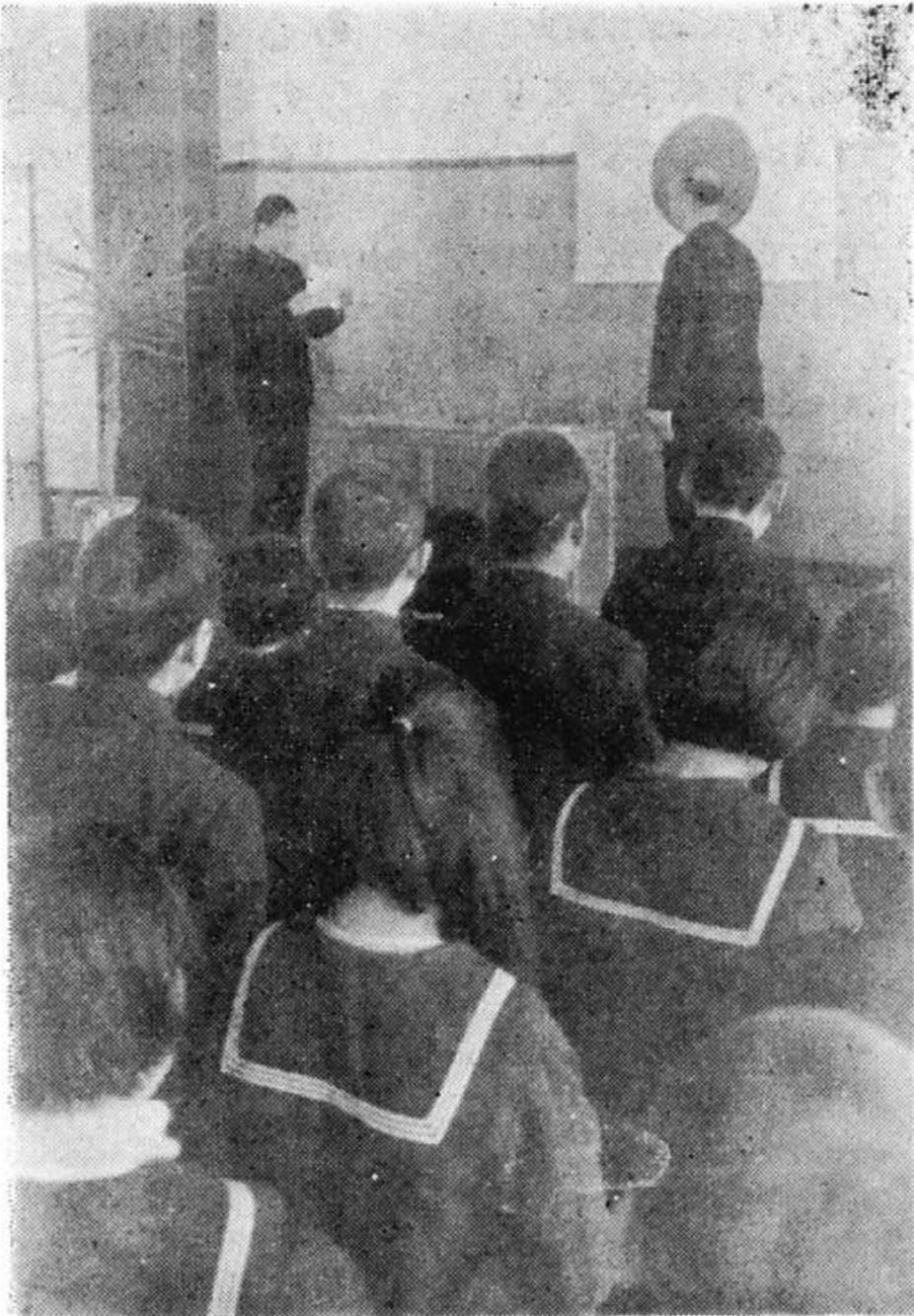
期限は3月15日から1カ月内に限りますが、期限が過ぎた後であっても、はっきりした誤りや書き間違いの場合は税務署で訂正する場合があります。いずれも用紙は税務署に備え付けてありますからご利用下さい。

卒業期にのそんで 就職する少年 たちへ

今年もまた、中学校・高等学校の卒業期が近づいてまいりました。

進学と就職

この春全国の中学校・高等学校を卒業する生徒数は、約367万人といわれておりますそのうち6割強の約221万人が進学を、約132万人が就職を希望しています。しかも就



中学卒業生をはげます会

卒業生 277名

3月3日役場で行われたこの会は、中学卒業生をはげますと共に、両中学生の親睦と村民としての団結を目的とするもので、今年が7回目である。卒業生の総数は277名うち進学139名、就職97名、家事従事41名となっている。

初め両校の校歌交歓ののち村長・議長・教育長のはげましのことばについて、村長から村政のあらましと、望ましい人間像を合せたお話があり、明るい笑いの中に多大の感動を与えられた。

昼はパンと牛乳による会食生徒と先生の共同リクレーション、映画『わかもの』を見て、楽しく意義深い1日をおくった。

卒業生代表小杉和信君謝辞…今私達は、新しい希望と未知の世界への何らかの不安を抱きながら、残り少ない中学生としての日々を送っています。

本日は、村長さんはじめ村の人達の暖かい志により、同じ村に育った私達一同をおまねきいただき、はげまして下さいましたこと、これはひとえに、私達両校生徒の親善を深める大切な機会を与えて下さったことになり、私達はかたいきづなに結ばれ、これからお互いに協力し合う気持ちを深めるよい機会だと思い深く感謝いたします。

私達は、これから上級学校へ進学する人、社会に出て働く人、家事にいそしむ人と、今迄共に生活して来た友達が自分の人生行路に沿って、それぞれ新しい道に向かって出発して行きます。

村の人達の期待にそむかないようにするにはどうしたらよいか？みんなそれぞれに考えていることでしょう。

上級学校に進む人は、今までの土台の上に更に大きな学問や技術を積み上げるために

努力することでしょう。

学校生活にはもうここでピリオドを打ち、自分の選んだ職場で一社会人として働らく人達は、小さいながら自分のしていることは日本産業の発達と国の繁栄につながるのだというよろこびとほこりをもって職務にまい進するでしょう。

…私達は、今まで喜びかなしみを共にして来た村をはなれて、どんな土地に住もうとも、静かな中に、明るくゆたかな郷土の味は、いつもなつかしく思い出されることと思えます。

私達はどこへ行っても東由利村の一員として先輩の指導をあおぎ、またあとから来る者のよき相談相手としてはづかしくないよう努力する覚悟でおります。

『広い視野に立って、自分をしっかりと見つめて行く態度』これが私達一人一人が成長し、やがては『一人前』になる大切な要素であり、一村民としての自覚をよみがえらせ郷土の新しい農村づくりにかけながら貢献するのだと確信し、努力する覚悟でおります。

今日の盛大な激励会を心から感謝いたします。

遠藤章君農学博士に 農芸化学賞も受ける

かねて母校東北大学に提出中の遠藤章君の博士論文は、今回教授会を通過して農学博士に決定した。これで本村出身の博士は8人目である。

なお同君の研究論文「糸状菌のペクチン質分解酵素に関する研究」に対し、日本農芸化学会（本部、東京大学農学部農芸科学科内）から、昭和41年度「農芸化学賞」副賞（賞金15万円）を贈られることになり、4月3日京都で授賞式が行われる。この賞は1年に1人であり、歴代授賞者中の最年少者である。

遠藤章君は小倉遠藤武雄氏の二男で本年33才、本村定時

制高校2年より本荘高校に転じ、東北大学を卒業して三共株式会社、中央研究所勤務中である。

婦人会定例総会

東由利婦人会、結核予予婦人会の総会は、3月23日老方小学校で行われた。

40年度の事業報告、決算の承認、役員改選、41年度の事業計画、予算の審議を行った後、岩手秋田青年婦人団体交流会の報告をなし、由利組合病院副院長の講話「献血と成人病について」を開き、献血の重大なことがよくわかった。なお希望者の血液検査を行った結果（蔵部を除く）47人中、優43人良4人というすばらしい成績であった。

老方家庭教育学級 終了式

2カ年連続無欠2人

2カ年連続開設の老方家庭教育学級の終了式は、3月24日、県社会教育主事井岡政雄先生の臨席を得て、老方小学校で行われた。

教育委員長より規定時数以上の学習をした76名に修了証をさし上げ、2カ年連続無欠席の阿部ナツオ・小野麗子の2人に精勤賞を贈った。

なおこの学級は父親達も熱心に参加しており、今後ともつづけて学習と実践に努力することを申し合せた。

自衛官採用試験

昭和41年度第1次採用試験期日 場所及び受験区域は次のとおりになりました。

4月27日、5月26日、6月1日、本荘市裏尾崎町 本荘保健所、区域、本荘市 由利郡

育児手当金の支給

国民健康保険では、被保険者がお産をした場合、助産費として2千円を支給していましたが、4月1日からそれとは別に、育児手当として1800円を支給することになりました。



写真上は先生をつくつたおもちやをもらつてよろこぶ住吉小の1日入学1年生かあさんたちもうれしそう。

下は工藤先生の指導で文集「山の子」づくりに取りくむ同5年生。

住吉小文集
「山の子」から

(一) おとうさんへ
佐藤エル子

おとうさん元気ですか。こ今ももうだんだんなくなりました。家の人たちはみんな元気でいますから安心してください。

それから、こんなことがありました。私たちが音楽室で鼓笛の練習をしていると一年生の先生が来て、「和子さんの家で用事があるからすぐ帰りなさい」といわれました。

私たちはべつだん気にもしていませんでした。そしたら次の朝私たちが学校へ行くと、和子さんは目をまっかにしてました。私たちが母さんとけんかでもして来たのかなと思っていたら「とうさん死んだでばよ」といいました。私たちがただびっくりしてしまいました。

月よう日そうしきがありました。わたしと真一さんがクラスの代表として先生につれられてしようこうにいきました。

た。和子さんはただ泣いてばかりいました。

私はそんなにおとうさんが大事だとは今までわかりませんでした。ただおとうさんというだけであまり話をしたこともありません。

和子さんの泣いている様子を見て、ほんとうにおとうさんの大事なことがわかりました。

おとうさんもまだ若いのですからからだを大事にしてはたらいして下さいね。

おかあさんも、くに子も、ひろゆきもみんな元気でいます。ではこれでさようならをします。

(二) こうし
佐藤賢

ぼくの家のごうしはとてもかしこい。おいでおいでをするとすぐこっちへくる。えさをやるとおやうしにとられてしまう。それでもだまっている。なんかいやってもすぐとられてしまう。

それからぼくはえさをやらないことにした。こうしはおかあさんのちちをのんでいるんだなと思った。

村内国道全面舗装
国の予算本きまり

3月15日根本代議士から次のような朗報がはいりました。これで我が村内の国道は今年中に全面舗装されることになりました。

昭和41年度土木予算のおしらせ(根本代議士)

上記のことにつきましては、かねて関係のみな様より御陳情をいただいておりますがその後鋭意関係方面に努力の結果、このたび、別紙のように決定致しましたので、取急ぎお知らせ申し上げます。

土木予算一覧表

種目、国道特殊改良第1種、路線名107号(大船渡～本荘)工事箇所、(東由利村板戸事業費400万円
国道特殊改良第4種、107号大琴～山内、3千万円
国道特殊改良第4種、館合～蔵、2千1百万円
合計、5千5百万円

火事を出さないように
全村皆消防の決意を

3月14日の朝、老方婦人消防隊が真剣な訓練をしていました。

火災の季節です。

村では消防団の優遇や、ポンプの買入れ、用水の新設など新予算に盛りこんで、鋭意火災の予防対策に努めておりますが、若い人達の村外就職や消防団員の大量出稼などによって、ポンプの操作もあやぶまれるような分団も出てまいりました。

生命財産は自分のもの、これを守るにも一人一人が本気になって立ち上らなければならぬ時代になりました。村長のいう「全村民皆消防」の決意を新たにして、消防団員だけに依存する考えを捨て、消防後援会、婦人消防隊などの組織固めと訓練にはげむと共に用水路、用水池の整備にも万全の用意をすることにとりましよう。

のら犬が
のさっばている

注射日程がきまつた

昨年9月1日から犬の放し飼いが出来なくなりましたが近頃また野ら犬が多くなりました。畑に作付けすると苦情がたえなくなります。かあいそうだが飼養者はかならずつなくようにして下さい。

また犬には恐ろしい狂犬病があります。これは法律によってかならず予防注射を受けなければなりません。今年の日程は次のとおりです。

日程

- 4月13日、農協大琴支所前(宿・袖山) 9.30分～12時
工藤二三雄宅前(法内) 13.30～15時
 - 4月14日、田代倉庫前(住吉) 10時～12時
玉米農協前(館合) 13.30～15時
 - 4月15日、農協蔵支所前(蔵) 9.30～12時
役場前(老方) 13.00～15時
- 手数料、鑑札代300円
射料230円
当日ご持参下さい。

おそろしい山火事を
なくしましょう

本年もおそろしい山火事の危険期になりました。

- 山火事の原因は
 - 1 タバコの不始末
 - 2 たき火の "
 - 3 無届の火入
 が主だ
- 山火事を防ぐために次のことを固く守って下さい。
 - 1 採草地への火入をやめる。
 - 2 火入は村長の許可を受けて
 - 3 許可を得ても異常乾燥と強風の日には止める
 - 4 残火のないことを確かめる
 - 5 タバコの吸がらはよく消す
 - 6 山での焚火はよく消す
 - 7 火入は風下、峯通りから
 - 8 よく注意して較はづみな心で火を扱わないこと

○
林野への火入れは、公有私用を問わず必ず村長の許可を受けて下さい。